

# びわこバイオガス プロジェクト

エネルギーで元気な滋賀へ！  
電気で明るい地域を目指します！



バイオガス施設が地域のハブとなり、自治体や滋賀県内の製造業、農業や観光業界と連携し、新しい経済の価値を創出いたします。

## 地域みんなで取り組むエネルギープロジェクト



滋賀県内から排出される食品廃棄物を原料として、バイオガスを発生させます。そのガスを使った発電はまさしくエネルギーの地産地消となりえる事業です。



施設建設やその他の付帯工事において、地元企業と積極的に取引を進めます。また、食品廃棄物は排出する企業、施設内に廃棄物を運搬する企業、施設で働く従業員に関しても、地元優先を心がけます。

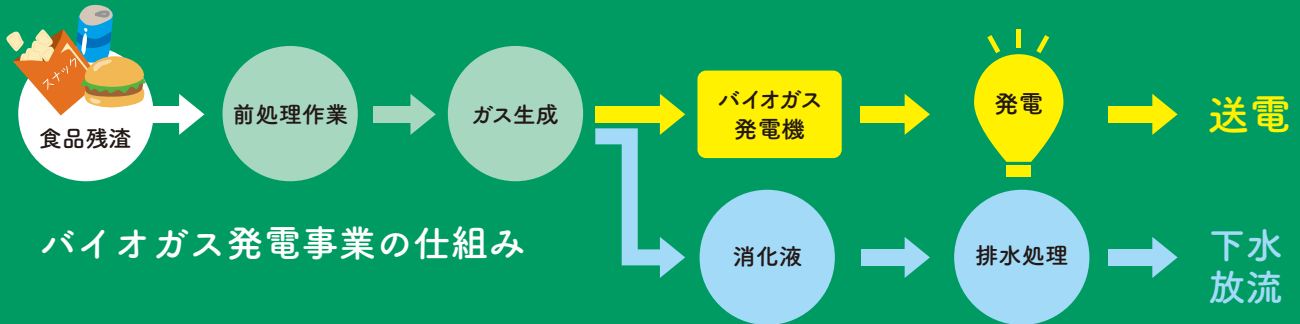


施設を環境教育の場として、子供たちや見学者を積極的に受け入れます。また地元との環境保全協定や防災協定を締結し、安心安全なまちづくりにも貢献していきます。

みんなのでつくる地域エネルギー

Biwako  
Biogas  
Project





## バイオガス発電事業の仕組み

### 分別

プラスチック・紙・金属などメタン発酵に適さない包装容器などを分別し、さらに原料をメタン発酵に適した状態に調合をします。また、発酵不適合物も最適な資源循環を行うために洗浄・破砕などを行います。

### 発酵

36℃～40℃の発酵温度に調整をされたタンク内で、メタン菌が嫌気性発酵を行います。嫌気状態で活性化されたメタン菌が有機物を分解する際の代謝物がバイオガスとなります。

### 水処理

メタン発酵後の消化液は、液体肥料としての活用もなされますが、当工場では、当面は微生物処理によって法に定められた環境基準（放流基準値）以下まで浄化し、下水へ放流いたします。

### 発電

発酵タンクから発生したバイオガスは硫化水素や水蒸気などの発電機へ悪影響を及ぼす物質も含まれています。それらを除去したガスをバイオガス専用のガスエンジンで電気エネルギーと熱エネルギーを生み出します。電気は再生可能エネルギーの電源として供給され、熱は場内で有効利用されます。

施設名：(仮称) 湖南バイオガス発電所  
 所在地：〒520-3114 滋賀県湖南市石部口2丁目227-1  
 地目：工業地域  
 面積：約10,000平米  
 運営主体：合同会社湖南バイオガス発電（案）  
 処理対象：産業廃棄物（動植物性残渣・汚泥・廃酸・廃アルカリ・廃油）  
 処理量：日量60トン  
 発電機出力：660kw（年間約450万kwh、一般家庭約750世帯分）  
 オペレーション：近畿環境保全株式会社  
 プロジェクト企画・運営：アンフィニ株式会社  
 プラントEPC：アンフィニ株式会社



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



私たちキンカングループは、国連が採択した持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、地域社会の発展に寄与していきます。

## 近畿環境保全株式会社

【営業本部】〒525-0027 滋賀県草津市野村1丁目3-2 SKキューブ2-B  
 TEL 077-561-5377 FAX 077-561-5388 ☎ 0120-63-5390  
 E-mail : info@kin-kan.co.jp <https://www.kin-kan.co.jp>